

(第4会場：2F自由研修室)

■司会 山中 慎嗣〈島根県〉 島根県教育庁生涯学習課 社会教育主事
森崎 伸一〈長崎県〉 長崎県教育庁生涯学習課 係長

5.19

1. 自治公民館拠点主義の生涯学習まちづくり事業における「生涯学習推進員」の機能と役割

10:45~11:10

森山喜代香〈宮崎県〉 綾町教育委員会 教育長

自治公民館拠点主義とは区長制度の変革を出発点にしている。綾町は昭和40年区長制を廃止し、自治公民館連絡協議会を結成した。以来、自治公民館は行政の下請け・支援組織であることを改めて、みずからの地域づくり、住民の交流、健康づくり、青少年の育成、生涯学習の推進など地域自治に専念することとなった。特に、生涯学習は自治公民館役員体制の中に「生涯学習推進員」を選任して推進し、綾町の手作り文化の数々を創造したのである。年間観光客は120万人。首長が選ぶ元気な自治体では「西の横綱」、全国花の町づくりコンクールでは最優秀賞を受賞。「モデルにしたい町」では第2位の栄冠に輝いている。

2. 郷土芸能「神楽」の若者への継承による愛郷心の形成と家学社融合の実践

11:10~11:35

中越 拓平〈高知県〉 檮原町教育委員会 教育長

高校生の地域活動として郷土芸能の「神楽」を導入し、若い世代による文化の継承と郷土愛の育成を目指して既に20年以上の実績を積み上げてきた。結果的に「家庭」・「学校」・「社会教育」の連携・融合が推進され、他の地域や学校に対しても良い刺激となっている。神楽の活動を通して培われた郷土愛や連帯感は若者の人格形成に多大の成果をおさめたばかりか地域の活力を醸成する点でも貢献が著しい。

3. 南阿蘇広域事業の展開と六ヶ町村連携の成果と意義

11:35~12:00

秋山 清二〈熊本県〉 高森町教育委員会 社会教育係長

昭和46年「南阿蘇はひとつ」をスローガンに広域事業が始まる。南阿蘇をひとつの文化圏、生活行動圏ととらえ、事務・経費の軽減と多様な学習要求への対応を目的として「南阿蘇生涯学習推進連絡協議会」を設立。運営は町村による「負担金」方式を取り、基本事業は、「阿蘇六ヶ町村勤労青年国内研修」、「南阿蘇セミナー」、「南阿蘇六ヶ町村少年少女国内研修」、「南阿蘇中学生海外研修」、「体力づくり阿蘇南部大会」、「南阿蘇生涯学習推進連絡協議会」の6分野である。

4. 総括討論

12:00~12:30